
日常な非日常。

水無月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日常な非日常。

【Nコード】

N5264Z

【作者名】

水無月

【あらすじ】

入学初日から、生徒会と風紀委員のメンバーに目をつけられることとなった、黒主鴉紀。平凡で目立つことなく学校生活を送りたい。そんな望みはかなうのか。

はじまり・・・

「続いては、風紀委員からです。風紀委員長、かいんはやく架院隼人さん、副委員長、あかいしじん赤石迅さんお願いします。」

司会の男がそういうと会場が一斉にざわめく。

「かつこいい」

「やりてー」

「ちょーやべえー」

おいおい、ちょいちょい放送禁止用語が・・・

隼人と迅って言ったけ、そいつらがステージの上にあがると俺と同じ一年のやつらが危険な単語をぶちかます。

それもそのはず、今ステージの上にいる二人は眉目秀丽という言葉が似合いすぎるほど綺麗な顔だちをしている。そこまでは、いいけど・・・

なんで・・・なんで男が女子みたいな言動をするのか俺には理解できない。

「静かにしろ。」

シ

ン・・・

会場全体が静まりかえる。さつきとはちがい、一気に冷たい空気が漂う。

「風紀委員長、架院隼人だ。今から、守っておかなければならないことを言う。しっかり頭にたたきこんでおけ。」

きつい口調でそいつは言った。が俺には関係ない。どーせ、あいつともかかわることはないだろう。

「制服は着崩さない。チャラチャラしない。授業を抜け出さない。喧嘩しない。学校の評価をおとさない。以上、これらのことを守る

ように。守らないやつは俺が指導してやる。」

隼人は礼をするとステージをおりていく。

いやいや、今言ったこと一番守らなければいけないお前が守ってないとかそれはダメだろ。

それもそのはず、隼人はどっからどーみても、ヤンキーだ。うん、これはべつに守らなくてもなにも言われないだろう。

はじまり・・・（後書き）

へたくそですみません！！
温かく見守っていただけると幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5264z/>

日常な非日常。

2011年12月17日21時49分発行